



報道関係各位

2021年9月6日
モンデリーズ・ジャパン株式会社

**香ばしいクラッカーになめらかなクリームをサンドした
人気の「リッツ サンドシリーズ」がパッケージ全面リニューアル！
美味しさと楽しさが伝わる新パッケージデザインになって登場！
2021年9月6日(月)より発売開始**

モンデリーズ・ジャパン株式会社(本社:東京都品川区/代表取締役社長:福本千秋)は、クラッカーブランド「リッツ」より、リッツ サンドシリーズの定番フレーバー3種である「リッツ チーズサンド」、「リッツ チョコサンド」、「リッツ バニラサンド」のパッケージを全面リニューアルし、2021年9月6日(月)より全国のスーパーマーケット、コンビニエンスストア、ドラッグストアなどで販売開始します。



**ロングセラーブランド「リッツ」、サンドシリーズのパッケージを全面リニューアル！
美味しさと楽しさが一目でわかる新パッケージデザインに！**

サクサクとした食感とほどよい塩味が特徴で、どんな具材とも相性抜群のクラッカー「リッツ」は、1971年に日本で発売されて以来、多くの方に親しまれている、4年連続国内売上 No.1(※)のクラッカーブランドです。中でも、香ばしくてサクサクの食感のリッツクラッカーになめらかなクリームをサンドしたリッツサンドシリーズは、おやつやおつまみとして幅広い世代に人気です。この度、リッツサンドシリーズの定番フレーバーである「リッツ チーズサンド」、「リッツ チョコサンド」、「リッツ バニラサンド」のパッケージがリニューアルします。動きのあるクラッカーと、「チーズ」「チョコ」「バニラ」それぞれのフレーバーのイラストを大きく入れることで、美味しさと楽しさが伝わるデザインに生まれ変わりました。店頭で製品を選ぶ際にもフレーバーが一目でわかりやすいデザインです。

※インテージ SRI+ ビスケットクラッカーカテゴリ種類1=クラッカー2017年1月~2020年12月ブランド別集計販売金額

※対象商品:リッツクラッカーS、リッツクラッカーL およびリッツブラックペッパークラッカー

「リッツ チーズサンド」

香ばしい風味、サクサクの食感のリッツクラッカーと、コク深いチーズクリームの絶妙なコンビネーション。おやつだけでなくおつまみとしても楽しめます。

「リッツ チョコサンド」

香ばしい風味、サクサクの食感のリッツクラッカーと、やさしい甘さのチョコクリームの組み合わせ。甘じょっぱさがクセになる味です。

「リッツ バニラサンド」

香ばしい風味、サクサクの食感のリッツクラッカーと、なめらかなバニラ風味の組み合わせ。季節を問わず人気の味です。

《製品に関する一般消費者からのお問い合わせ先》
モンデリーズ・ジャパン株式会社 お客様相談室 TEL:0120-199561(通話料無料)

《報道関係各位からのお問い合わせ先》
モンデリーズ・ジャパン広報事務局 : MSL 高橋、若菜
TEL:03-5719-8933 / FAX:03-5719-8919 / メール:mdlz-pr@msl-japan.com

<参考資料>

マインドフル・スナッキングについて

「マインドフル・スナッキング」は、モンデリーズ・インターナショナルが推奨する、健康的に楽しくお菓子を味わうための、お菓子との上手な付き合い方です。具体的には、「何を食べたいか」「なぜ食べるのか」「食べることでどう感じるのか」を意識しながら食べ物を味わう行為を意味しています。食べることに目的を持ち、目的に合った食べ物を選び、そして五感を使って味わうことで、食べ過ぎを防ぎ、より満足感・幸福感を得ることができると言われています*。

モンデリーズ・インターナショナルでは、この「マインドフル・スナッキング」を実践し、健康や栄養に配慮しながらお菓子を楽しんでいただくために、2016年より全世界における全製品のパッケージ前面にカロリー表示をしており、日本でも、ガム・キャンディ・ビスケットの全製品において、パッケージ前面にカロリーを表示しています。2021年4月にはこの取り組みをさらに発展させ、「オレオ」製品において以下の変更を実施しました。そして、この度、「リッツ サンド」でも、この新しい表示を導入します。

- パッケージ前面のカロリー表示にイラストを追加。
- 1食分の目安でカロリーを表示。

<リッツ チーズサンド>



*栄養素等表示基準値に対して7%

<リッツ チョコサンド>



*栄養素等表示基準値に対して6%

<リッツ バニラサンド>



*栄養素等表示基準値に対して7%

今後、他の製品においても同様の表示を展開していく予定で、9月27日には、新製品の「プレミアム トマト&パジル クラッカー」でも、この表示を導入します。

*出典

Hendrickson et al., 2016; Camillieri et al., 2015; Gravel et al., 2014
Gravel et al., 2014; Hong et al., 2014; Arch et al., 2016; Cornil & Chandon, 2015
Gravel et al., 2014; Hong et al., 2014; Arch et al., 2016; Cornil & Chandon, 2015; Oldham-Cooper et al., 2011; Higgs, 2015; Mittal et al., 2011; Higgs et al., 2011, Robinson et al., 2014